



(株)JSOF

取締役CEO

大石 幸一郎氏

狭小地や市街地での山留工事を可能にする山留工法「MRW式杭打工法」を全国で展開するJSOF（広島市安佐北区上深川町439）の大石幸一郎取締役CEO。「建物

削能力も大幅にアップした。これまでの施工実績から企業だけでなく一般

MRW式杭打工法について「H鋼杭打機（イー济的かつ合理的な工法。H鋼、鉄矢板共に

いづらでも付けることが挿入スピードが格段に上がった。油圧式の高周波できるが、小さく高性能速いため掘削作業の工程タイプで共鳴しにくい振な機械は施工への影響を4割短縮し、労務費などコストダウンにつながっている」ことが大きな特徴をクリアする必要から「型苦勞した」と振り返る。枠や木矢板との併用も可能で安全性とあわせて経機、H鋼打ち込み機の入れ替えが必要で時間もかかるが、MRW式杭打工法の新たな機械は1台で掘削、吊り込み、打設が可能、低騒音・低振動を実現し、従来工法より工期が短縮され、車両費・材料費・人件費が大幅にカットできる。

## 低騒音・低振動で掘削能力アップ

### 画期的な山留工事の「MRW工法」

「建物がお隣接する現場の安全安心を確保するため、新しい重機（ニューイーグル）を自社開発し、従来機より低騒音・低振動を実現、さらに掘

のお客様からの問い合わせも多い」と述べる。

孔した小径孔に低振動で引き抜き回収するので、垂直に親杭を打設する工木矢板などの埋設物を残さないことでシロアリ発

今後について「今まで

内でも周りの人は予想以上

元請業者やお客様の声に

特に「掘削はオーガと

ウハウを全国に広めてい



掘削現場は、数値出ない現場はない。数値内でも周りの人は予想以上に音が気になるなど、建物などへ被害を最小限説明する。特に「掘削はオーガとき、もっと機械を大きく抑える機械の開発を進め幅に工事費が安く、木矢特殊な先端にすることで世界に出して挑戦した。大きな機械は後から板工法に比べ施工が簡単格段に施工スピードが上」と先を見据える。